



2013~2014年度 国際ロータリーテーマ  
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES  
「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013~2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2948回例会 2014年6月5日 グランドホテル神奈中 週報第2948号

## 下期情報集會報告

テーマ：「ロータリーの認知度向上について」  
一人でも多くの方々にロータリーを知ってもらうには



合同開催  
**黄グループ幹事** 江藤博一 会員  
**青グループ幹事** 前田孝平 会員 (発表)  
 日 時：2014年5月29日  
 場 所：平塚経済懇話会  
 参加者：7名  
 全員より意見を頂いた。頂いた意見として、HPをもっといろいろな方に見て頂く努力をしてみる。またオープン

- 例会などメンバー以外の方にも卓話の時間を開放し知ってもらう。
- \*七夕をうまく利用する。ブースやパネルを用いて活動の紹介を行う。
  - \*テレビや新聞などでロータリー全体のコマーシャルをうって知ってもらう。2000のロータリークラブがあれば1クラブ1万円の負担で済むし、大きな効果が期待できる。飛行機やグリーン車の機内誌等に出すのも有である。
  - \*活動している時の写真をもっとメンバーで共有しSNS等使って発信してみる。ドロップボックス等でメンバーは写真を共有する。
  - \*様々な大会等において事務局さんを見かけるが左近允さんが一番美人。ある慶弔ごとがあってお手伝いしている時、凄い美人だと話題になっていた。もっとビジュアル担当で前面に出てもらってもよいのでは。マスコミやメディアなどの活用意見が多かったです。その中でこのような意見も多数出ていました。
  - \*知ってもらいたい対象者は誰なのか？それによって知ってもらうための戦略が異なる。ブランディング戦略が必要である。その為には何ぞ知ってもらいたいのか？その目的は？等をはっきりさせる必要がある。それによってアプローチの仕方が違う。ロータリーといえば(例えば奉仕とかボランティアとか金持ちとか)というのがブランディングの観点からないといけない。そこでまずはメンバーのレベルの底上げが必要なのではないか。小泉さんや大塚さんの様な古くからいらっしゃる先輩の話を卓話で拝聴したり。それが無いと外部の方にロータリーとは何ぞやといった話が出来ない。
  - \*ライオンズとは何が違うのか？知っておく必要がある。
  - \*ロータリーは寄付じゃない、ライオンズは寄付。例えばごみを拾っているのがロータリー、ごみを拾いましょうと声掛けしているのがライオンズ。
  - \*今と昔とはロータリーの雰囲気は大きく変わった。昔は大変厳しかった。今の方が雰囲気が良い。人も集まりやすいのでは。
  - \*ロータリーはある程度選ばれた人の集まりでもある。口コミ程度で十分な気がする。

\*ボランティアは余力でやる事。しっかりと会社を営み雇用を守り納税する。それが国づくりに繋がり貢献する事になる。それが最大のボランティア。

総括  
\*いろいろな方がいて色々な事を一所懸命している。個性の集まりはカッコいい。そういう集まりは魅力だし、だからこそ入ってみたいと思うのでは。



**赤グループ幹事** 近藤 学会員 (発表)  
 開催日時：平成26年5月29日(木)  
 PM 6~8

参加者：8名 / 開催場所：相州長屋  
 <意見等> テーマに対し活発な意見交換を行いました。

●ロータリーでは、地域で行える社会奉仕活動等良い取組みを行っている(例えば、「よい音楽に親しむ会」や「緑化まつり協賛事業としての巣箱づくり教室への協力」「少年少女マラソン大会」等)。

各活動をいかに知ってもらうか?といった切り口から意見交換実施。

- 地方紙で取り上げてもらえるような取組みをしていく(ロータリーは、他団体と比較して、媒体等への露出度が低いように見受けられる)。
- 話題性のある取組みを工夫してニュースバリューを高める。
- 定期的な記事提供を行う(例えば、タウンニュース、湘南ジャーナル等への継続的の出稿等)。
- 活動実施前における周知を含めた事前PRを行う。
- 他のロータリークラブと連携してPR活動を行う(例えば、海岸のゴミ拾い等)。
- 取組みの内容によっては、寄付等と連動させて市民への理解を促進させられるような工夫をする。
- 各種取組みをロータリークラブだけで実施するに留まらず、取組みに応じて、市長、商工会議所、教育委員会等、さらなる支援・協力・共催・連携等を図る工夫をしてみる。
- 認知度向上の狙いは何か?市民に対する認知度向上の工夫もさることながら、会員増強を覗んだ、入会に関する記事広告等によるロータリークラブ自体のPRも方向としてあるのではないか。等がメンバー皆さまの意見でした。

### <グループとしてのまとめ>

- ① いろいろな意見を参考に、さらに深く掘り・精査をして、試しにできる事から実施してみるのが良いかもしれない(トライアル期間を設定し実施・検証してみる等)。
- ② 積極的なPRが 大切との意見が多数あったことから、様々な観点から十分な検討を行った上で、広告費の計画を設計し、実施してみるのも良いかもしれない。

### <最後に>

- 「ロータリーの活動にあたって、会員相互間の親睦を深め、それぞれの個性を活かしたクラブ運営を推進し、「楽しく」「みんなのためになる」取組みの充実を図り

## <出席報告>

本日 6月5日	会員数 61名	対象者 57名	出席者 39(36)名	出席率 65.00%			
前回回 5月22日	会員数 61名	対象者 57名	出席者 36(32)名	出席率 59.02%	MUP 8名	計 44名	修正率 72.13%

ながら、平塚の発展とともに歩み、存在意義を發揮できるクラブとして、みんなで頑張っていこう」という想いを合わせ、和やかに会が終了となりました。



### 橙グループ幹事 飯塚和夫会員(発表)

橙グループは、6月29日午後6時から、日本料理「松風」で情報集会を行いました。国際大会に参加された2名の会員を除き、7名の会員が参加し、2時間にわたって熱心な議論をしました。

橙グループでは、まず、「ロータリーの認知度向上は必要か」について議論しました。「ロータリーはクローズな団体なので宣伝などの必要はない」という伝統的な考え方も披露されましたが、多くの会員は「ロータリーがどんなことをしているのかわからない人も多いため、広報をする必要性はある」、「認知度を向上することで優秀な会員が加入する機会も増える」という積極的な意見が多く出されました。

そこで、「認知度を向上するためにはどうしたらよいか」について議論したところ、「ロータリーはライオンズに比べて宣伝が消極的なので、情報誌などに対するプレスリリースをしっかりとする必要があります」、「少年少女マラソン大会、巣箱づくり、ポリオエンドナウ、よい音楽に親しむ会などの行事の広報を積極的に行うべき」、「巣箱づくりの時に揃いのTシャツを着たり、風船を配ったことはインパクトがあったので、続けた方がよい」、「新聞などのマスコミ関係者を卓話の講師に招き、ロータリーとの接点を増やすべき」などとの意見が出されました。

このように積極的な意見交換をした結果、橙グループでは、会員一人ひとりがロータリーの魅力を自覚して、積極的な情報発信をすることが必要だという結論に達しました。(担当 飯塚和夫)



### 緑グループ幹事 馬上 晋会員(発表)

平成26年5月29日、18:00、キッチン伊志川にて、出席者7名で下期情報集会を開催しました。

認知度向上のため、既存の事柄の改善という観点から、主に2点の施策が挙げられました。「攻めの広報」と「一般の参加型セレモニー作り」です。

まず、攻めの広報です。少年少女マラソン大会で主催者としてもう少し前になる姿勢が大切だ。ケーブルテレビでロータリー広報番組を制作してもらおう等対外へのアピール強化を支持する意見が多かったです。

次に、一般の参加型セレモニー作りです。特に、副賞を豪華にした親子参加型表彰式を開催し、将来世代の思い出に残ることが大事という意見には全員賛同で一致しました。

いずれも様々なリスクはあるけれど、ロータリーの認知度が上がることは、会員増強にもつながってくるので、「積極かつ地道な広報は大事だ」という結論にいたりました。



### 紫グループ幹事 栗野 裕会員(発表)

紫グループは、5月29日木曜日に、福山裕会員のご協力をいただき、グランドホテル神奈中の「松風」において情報集会を行いました。

当日は8名のメンバーに参加いただき、約2時間程度活発なディスカッションを行いました。主な意見は以下のとおりでした。

#### ◎認知度向上への取り組みかたについて

- ロータリーはどう思われているか。名士の集まりで、なにをやっているのかわからないと思われているのではないか。米山奨学会もあまり知られていない。
- 例えば、ライオンズクラブと比較して地味である。ライオンズは大々的に宣伝を行っている。
- JCなどは、卒業があり、卒業後に政治家等外に出ることで宣伝になっている。
- 一方で、派手に宣伝すれば良いというのではない。節度を持ってPRするのは難しい。という意見もあった。

#### ◎具体的な認知度向上策について

- 「巣箱づくり教室」や「少年少女マラソン大会」など、

地道な活動を続けることが一番重要である。

- 現在でもやっているが、そのような地域イベントで会長等が挨拶をする際に、「ロータリーとは何か」というお話をしてもらう。
- 各行事の様子について、神奈川新聞のほか、地元の情報誌などに記事を書いてもらう。
- ただし、平塚は5つものクラブに分かれており、各クラブでバラバラな活動をしているのが問題である。
- 本来的には2つのクラブがあれば十分との声もあったが、例えば「少年少女マラソン大会」を、「平塚ロータリークラブが主催、他クラブが共催」とすることで、ロータリーの認知度向上に役立てるのではないかと。
- このようなことを一緒に検討していくため、「合同での協議会」のような組織を作ってみてはどうか。

## <委員会報告>

### ◆スマイルボックス委員会 西村裕子会員

(報告・プレゼンター)

5月のスマイル大賞を発表致します。

- ◇添田 郁会員 最近箱根登山を2回ほどしました。①は矢倉岳(金時山の隣)でご褒美にゼンマイがとれました。②は湯本駅より塔の峰に登り、明星岳をへて宮城野に降りました。勘太郎の湯で疲れを取り足に感謝して帰りました。
- \*いつまでもお元気でまた登山の話させてください。

- ◇飯塚和夫会員 花巻ロータリークラブの訪問に参加して参りました。東北の新緑は大変素敵でした。仙台の海岸はとても悲惨なものでした。三荒会員の読経で救われました。有難うございました。

\*悲しい中にも一筋の光…ご報告有難うございます。

## <幹事報告>

- ◎国際ロータリー日本事務局より、RI本部からのお知らせを配信するサービス「RIJO-FAQ」についてアンケートのお願いです。クラブ内でPCアドレスをご登録いただいている会員の方にお送りしました。今後この配信を受信希望される方は事務局までお申し出ください。
- ◎国際ロータリー日本事務局より、ポリオ撲滅キャンペーンの開催のお礼状をいただきました。
- ◎先週(5/29)に卓話でお見えの原田燦太郎様よりお礼状をいただきました。例会后のアンケートに多数ご協力いただき、勇気とエネルギーとなったこと、また皆様からのご寄付は62,000円となり感謝の内容でした。
- ◎FM 湘南ナバサ『20周年記念パーティー』開催のお知らせ  
日 時：7/1(火) 18:00～  
会 場：ラスカ6F ラスカホール  
会 費：5,000円  
\* 桐本会員が出席します。

## <メイクアップ>

8名

白石慎太郎・飯塚和夫・高橋賢二・杉山昌行  
常盤卓嗣・成瀬正夫・鈴木忠治・田島裕巳 会員

## <本日のスマイル>

18名

## <ゲスト>

0名

## <ビジター>

1名

平野達雄様(平塚西RC)

## <卓話・行事予定>

- 7月 3日(木) 新役員挨拶
- 10日(木) 入会記念卓話 増田尚文会員
- 17日(木) シドニー国際大会報告
- 24日(木) 卓話予定
- 31日(木) 休会(定款による)

## <市内例会変更>

平塚西 6/25(水) → 6/22(日) 納会(移動)